

**OKAYA**

2022年5月13日

各 位

会社名 岡谷電機産業株式会社
 代表者名 代表取締役 高屋 鋪 明
 社長執行役員

(コード番号 6926 東証スタンダード市場)

問い合わせ先

常務執行役員 金丸 昌雄
 経営企画室長

(TEL 03-4544-7000)

連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年2月14日に公表した2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

2022年3月期の通期連結業績予想と実績との差異(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回公表予想(A)	百万円 13,500	百万円 △300	百万円 △260	百万円 △390	円 銭 △17.44
今回実績(B)	13,366	△453	△354	△436	△19.51
増減額(B-A)	△134	△153	△94	△46	
増減率(%)	△1.0	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績(2021年3月期)	10,521	65	66	2	0.11

(注) 1株当たり当期純利益の算定に用いる期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

(修正の理由)

2021年度第2四半期連結累計期間以降、新型コロナウイルス感染拡大により、当社の主要な生産拠点であるスリランカ工場周辺において外出制限が発令された影響もあり、生産活動に支障がでました。この対応として、他工場での代替生産に努め、2022年3月期の売上高は、2022年2月公表予想値を若干下回りましたが、期初予想を上回る結果となりました。一方、代替生産による労務費増等に加え、原材料価格の上昇、輸送コスト増等の様々な要因により、想定以上のコストが発生したため利益面につきましては、2022年2月公表予想値を下回る結果となりました。なお、コスト抑制に向けた様々な取組や製品価格への反映を進めましたが、2022年3月期における効果の発現は限られ、利益面については赤字を計上するに至りました。

以上